


みんなが " ツナガル " まちづくり「誰一人取り残さない！笑顔あふれる幸せのまち 松田」～日本の1万分の1スケールの町からの提案～
神奈川県松田町（2021年度選定）

| | | |
|-------------------------------|--|--|
| <p>1. 地域の特徴と課題及び目標</p> | <p>神奈川県西部に位置する町域の約76%を森林が占める自然豊かな、人口約1万人の町。町の中心には小田急線とJR御殿場線の駅があり、東名高速道や国道などが交わり、交通の要所として栄えてきた。近年は、町外への転出等による人口減少やそれに伴う産業の衰退、自然災害の甚大化、新型コロナウイルス感染症への対応などの課題に対し、地域が有する資源を最大限生かし、様々なステークホルダーとの協働の中で解決していくことを目指す。</p> | <p>2. 関連するゴール</p>  |
|-------------------------------|--|--|

| | |
|--|--|
| <p>3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)</p> | <p>人口約1万人の日本を1万分の1スケールにした小さな町が、地域の強みであり喫緊の課題でもある町域面積76%を占める森林資源を軸に、SDGsの観点から地域の資源、強みを活かし、デジタル化などの未来技術を取り入れながら、SDGsの理念を取り入れた総合計画における各種施策を推進することにより、地域の諸課題を解決するとともに、地域経済好循環を創出し、「誰一人取り残さない！笑顔あふれる幸せのまち 松田」を実現する。</p> |
|--|--|

4. 自治体SDGs推進等に向けた取組

| |
|---|
| <p>【自治体SDGsに資する取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① コミュニティのさらなる活性化 ② コンパクトで住みよいまちづくりの推進 ③ 強みを未来へつなぐ地域資源のブランド化 ④ 次代の育成/女性・高齢者活躍 <p>【特に注力する先導的取組（三側面をつなぐ統合的取組）】</p> <p>『グリーン』＆『デジタル』へパラダイムシフトプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地球温暖化対策実行計画」の策定及び連携体制の構築 ・松田町SDGs推進プラットフォーム（パートナー制度）の構築 ・木質バイオマス事業による経済好循環の創出 |
|---|

6. 取組成果

| |
|---|
| <p>【ステークホルダーとの連携】</p> <p>企業や団体等と相互に連携・協力して、地域課題の解決やSDGsの推進を図ることを目的に、行政・学校・包括連携企業が連携し、町内の小中学校において松田町SDGs推進プラットフォームを活用した授業を行った（令和5年10月～12月）。また、第24回まつだ産業観光まつり（令和5年11月）において、他企業と連携してプラットフォームの出展を行い、幅広い世代に対してSDGsに対する理解を深めた。</p> <p>【木質バイオマス事業】</p> <p>本町の重点的取り組みとなる木質バイオマス事業において、令和3年度に選定した薪製造団体の稼働により、木質バイオマス事業における雇用の創出や森林の整備において目標値の達成に向け大きく近づいている。</p> |
|---|

5. 取組推進の工夫

| |
|--|
| <p>松田町SDGs推進プラットフォームをより多くの人へ活用してもらうことを目的として、松田町SDGs推進プラットフォーム説明会を商工会や自治会長に参加を呼びかけ開催した。説明会では、SDGsカードゲームを用いて、まずはSDGsの概念を学んでもらい、さらに、当町の特徴的な取組みであるSDGs推進プラットフォームの説明を行い、SDGsの普及啓発を実施した。</p> |
|--|

7. 今後の展開策

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・パートナー制度の構築により、活動を見える化するとともに、パートナー同士のマッチング（令和4年12月）の機会を創出し、自律的好循環の形成を図りたい。 ・木質バイオマス事業については、薪製造団体が本格的に活動を始めたところであるが、まだ供給先が限られる状況であり、生産量が少ない状況にあるため、燃料用材供給元及びエネルギー利用先の拡大を図りたい。併せて、環境負荷の少ないまちづくりを目指すため、社会啓発運動を継続的に実施していく。 |
|---|

| | |
|----------------------------------|---|
| <p>8. 他地域への展開状況（普及効果）</p> | <p>日本の1万分の1スケールの「消滅可能性都市」が、様々なステークホルダーとの協働などの手法も取り入れSDGsの取組を推進し、人口減少や森林保全など他の多くの自治体でもみられる地域課題を解決していくことは、他地域のモデルとなり得る。</p> |
|----------------------------------|---|

SDGs未来都市等進捗評価シート

2021年度選定

神奈川県松田町

2024年9月

SDGs未来都市計画名

松田町SDGs未来都市計画

自治体SDGsモデル事業
又は特に注力する先導的取組

—

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

(1) 計画タイトル

松田町SDGs未来都市計画

(2) 2030年のあるべき姿

「誰一人取り残さない！笑顔あふれる幸せのまち 松田」を実現するとともに、松田町第6次総合計画において定めた町の将来像「いのち“育み” 未来へ“ツナグ” 進化“つづける”故郷」が達成されている。

その実現に向けて、R E S A SやD X（デジタル・トランスフォーメーション）を活用した地域課題の解決など、未来技術の活用を積極的に検討し、各種施策を推進することで次の6つの基本目標と松田町版SDGsを達成していくこととする。

(3) 2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール



(4) 2030年のあるべき姿の実現に向けた取組の達成状況

| No | 指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号 | 当初値 | 2023年（現状値） | 2030年（目標値） | 達成度（%） |
|----|--|---------------|------------|----------------|--------|
| 1 | 地域座談会や出前講座等への参加者数 【17.17】 | 2019年 232人 | 67人 | 2022年 400人 | -98% |
| 2 | 松田ブランド認定品の売上額 【8.3、8.9】 | 2019年 7,604千円 | 6,272千円 | 2024年 15,000千円 | -18% |
| 3 | 町内における累計起業件数 【8.3、8.9】 | 2019年 1件 | 6件 | 2024年 5件 | 125% |
| 4 | 木質バイオマス燃料（薪）の生産量 【9.4】 | 2019年 0t | 47t | 2023年 150t | 31% |
| 5 | 地域座談会や出前講座等への参加者数 【17.17】 | 2019年 232人 | 67人 | 2022年 400人 | -98% |
| 6 | 再生可能エネルギー出前講座参加者数 【4.7、13.3、15.2、15.4、7.17】 | 2019年 0人 | 71人 | 2023年 90人 | 79% |
| 7 | I C T環境を活用した授業の割合（年間） 【4.7、13.3、15.2、15.4、7.17】 | 2019年 49% | 83.8% | 2024年 80% | 112% |
| 8 | 花の植栽活動実施箇所数 【4.7、13.3、15.2、15.4、7.17】 | 2019年 60箇所 | 60箇所 | 2023年 100箇所 | 0% |
| 9 | 地域での助け合い・支え合いの体制組織数（設置自治会数） 【4.7、13.3、15.2、15.4、7.17】 | 2019年 20箇所 | 20箇所 | 2023年 全地域を網羅 | 0% |
| 10 | 自治会への加入率 【4.7、13.3、15.2、15.4、7.17】 | 2019年 91.24% | 85.5% | 2023年 94% | -208% |

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

| No | 指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号 | 当初値 | 2023年（現状値） | 2030年（目標値） | 達成度 （%） |
|----|--|---------------------------|----------------------|-------------------------------|------------|
| 11 | 地域座談会や出前講座等への参加者数 【17.17】 | 2019年 232 人 | 67 人 | 2022年 400 人 | -98% |
| 12 | 施業森林面積 【6.6、15.2、15.4】 | 2019年 16 ha | 16 ha | 2022年 20 ha | 0% |
| 13 | 一人一日あたりのごみ排出量 【12.5】 | 2019年 891 g | 810 g | 2022年 820 g | 114% |
| 14 | 木質バイオマス利用設備の導入によるCO ₂ 排出削減量 【7.2,13.3】 | 2019年 0 t-CO ₂ | 52 t-CO ₂ | 2022年 145.1 t-CO ₂ | 36% |
| 15 | COOL CHOICE事業賛同者数 【7.2,13.3】 | 2019年 778 人 | 1,600 人 | 2023年 1,600 人 | 100% |

(5) 「2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

・「No.1、5、11 地域座談会や出前講座等への参加者数」については、新型コロナウイルス感染症の拡大以降、町政懇話会（町内2会場）・地域座談会（希望された2自治会のみ）による形式に開催方法を変更したことから、当初値の参加者とは乖離がある状況にある。その代わりに、アンケート調査等を定期的に行うことにより、町政への町民意見の反映を企図した。地域座談会については、近年、参加者が減少していることから、若い世代の参加者を増加させるためにテーマの見直しや周知方法などを検討する必要がある。また、出前講座等の参加者を増やすためにも、より魅力的な講座の内容について検討を進めていく。

・「No.2 松田ブランド認定品の売上額」については、令和5年度から販売場所の一つであった公共施設内の売店スペースが閉鎖となったことなどの要因により売上額が減少となり、目標値に達しなかった。今後も販路の拡大等の支援を行い、売上額の増加を図っていく。

・「No.3 町内における累計起業件数」については、「足柄上商工会」、「さがみ信用金庫」と連携し、起業・創業の相談受付や補助制度の実施した結果、目標値を上回る件数となった。

・「No.8 花の植栽活動実施箇所数」については、過去からの事業継続により、植栽に適した主な箇所は概ね実施済みであることから、件数を伸ばすことが難しい状態となっている。近年はプランターを設置することで新たな植栽箇所の増加を図っており、令和6年度に1箇所の増加があった。

・「No.9 地域での助け合い・支え合いの体制組織数（設置自治会数）」については、新型コロナウイルス感染症の拡大以降20自治会が運営できたが、令和5年度は参加者の減少から1自治会減となった。今後も継続して全地域において地域の茶の間・居場所づくりを提供できるよう広報等で周知していく。

・「No.10 自治会への加入率」については、町の人口が減っている中、高齢になり役員ができないといった理由などにより退会する方がいることに加え、転入者が自治会になかなか加入しないことが課題となっている。デジタル技術を活用し、新たに自治会専用SNS「いちのいち」を通じてスマホで自治会情報を受け取れる環境を構築し、自治会加入によるメリットを引き出すことで、加入率の向上を推進していく。

・「No.12 施業森林面積」については、既に町有林及び水源涵養機能等増進すべき民有林を確保して施業している状況にある。今後、災害等により施業が必要と認められる森林については新たに施業を図っていく。

・「No.13 一人一日あたりのごみ排出量」については、電動式生ごみ処理機の補助やコンポスト、ペットボトル圧縮機の配布により減少傾向にあり、目標値以上の排出量を減少させることができた。より減量化するため、剪定枝や製品プラの資源化に向けた取り組みを進めていく。

・「No.15 COOL CHOICE事業賛同者数」については、脱炭素に向けた取り組みは、賛同を募るまでもなく国民全体で押し進めていかなければならないものであるとの判断のもと、賛同者の新たな募集は実施しなかった。今後もクールチョイスの普及に向けた講座やワークショップの開催は継続して実施していく。

・「No.4 木質バイオマス燃料（新）の生産量」及び「No.14 木質バイオマス利用設備の導入によるCO₂排出削減量」については、本町の重点的取り組みとなる木質バイオマス事業において、令和3年8月に新製造団体を選定し、本格的に動き始め、木質バイオマス事業における雇用の創出や、森林の整備において目標値の達成に向け大きく近づいている。町健康福祉センター温浴施設において、以前は灯油を使用して湯沸かししていたが、現在は木質バイオマスボイラーを併用することでCO₂排出量を削減した。一方、木質バイオマスボイラー運用のノウハウの不足により性能を活かしきれていないことや、新型コロナウイルス感染症の影響により、町健康福祉センター温浴施設の営業日が週6日から週5日になったことに加え、営業時間も1時間短縮されたことにより、薪の供給量が当初の想定より減少し、その結果、木質バイオマス利用設備の導入によるCO₂排出削減量についても当初の想定には達していないものの、安定的な量の供給を継続して行うことができている。

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2021年～2023年

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

| No | 取組名 | 指標名 | 当初値 | 2021年実績 | 2022年実績 | 2023年実績 | 2023年目標値 | 達成度(%) |
|----|-------------------------------|-----------------------------|-------------------|-----------------|-------------------|-------------|-------------------|--------|
| 1 | ① コミュニティをさらに活性化する仕組みづくりプロジェクト | 地域座談会や出前講座等への参加者数 | 2019年 232 人 | 2021年 64 人 | 2022年 46 人 | 67 人 | 2022年 400 人 | -98% |
| 2 | ① コミュニティをさらに活性化する仕組みづくりプロジェクト | 自治会加入率 | 2019年 91.24 % | 2021年 89.07 % | 2022年 86.65 % | 85.50 % | 2022年 94 % | -208% |
| 3 | ① コミュニティをさらに活性化する仕組みづくりプロジェクト | 防災訓練への参加者数 | 2019年 2,539 人 | 2021年 0 人 | 2022年 0 人 | 1,700 人 | 2022年 3,300 人 | -110% |
| 4 | ① コミュニティをさらに活性化する仕組みづくりプロジェクト | 地域での助け合い・支え合いの体制組織数(設置自治会数) | 2019年 20 か所 | 2021年 20 か所 | 2022年 20 か所 | 20 か所 | 全地域を網羅 2024年 | 0% |
| 5 | ② 新松田駅・松田駅周辺のまちづくりプロジェクト | 商工業販売・出荷額 | 2019年 120.3 億円 | 2021年 156.2 億円 | 2022年 163.2 億円 | 132.4 億円 | 2024年 135.0 億円 | 82% |
| 6 | ② 新松田駅・松田駅周辺のまちづくりプロジェクト | 新松田駅における定期外乗車人員数(年間) | 2019年 1,713,288 人 | 2021年 947,263 人 | 2022年 1,110,257 人 | 1,317,615 人 | 2024年 1,742,385 人 | -1360% |
| 7 | ② 新松田駅・松田駅周辺のまちづくりプロジェクト | 松田駅における定期外乗車人員数(年間) | 2019年 511,368 人 | 2021年 283,093 人 | 2022年 341,195 人 | 405,311 人 | 2024年 516,845 人 | -1936% |
| 8 | ② 新松田駅・松田駅周辺のまちづくりプロジェクト | 新松田駅南口駅前広場等整備事業の進捗率 | 2019年 50 % | 2021年 50 % | 2022年 55 % | 55 % | 2022年 100 % | 10% |
| 9 | ② 新松田駅・松田駅周辺のまちづくりプロジェクト | 2020～2024年の5年間における社会移動数 | 2019年 ▲ 223 人 | 2021年 ▲ 85 人 | 2022年 23 人 | ▲ 108 人 | 2024年 ▲ 137 人 | 134% |
| 10 | ③ 地域資源のブランド化プロジェクト | 生涯学習事業への参加 | 2019年 30 % | 2021年 58.4 % | 2022年 60 % | 60 % | 2022年 70 % | 75% |
| 11 | ③ 地域資源のブランド化プロジェクト | 観光客数 | 2019年 665 千人 | 2021年 374 千人 | 2022年 522 千人 | 577 千人 | 2022年 788 千人 | -72% |
| 12 | ③ 地域資源のブランド化プロジェクト | 松田ブランド認定品の売上額 | 2019年 7,604 千円 | 2021年 9,311 千円 | 2022年 10,521 千円 | データなし 千円 | 2022年 15,000 千円 | - |

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2021年～2023年

| No | 取組名 | 指標名 | 当初値 | 2021年実績 | 2022年実績 | 2023年実績 | 2023年目標値 | 達成度(%) |
|----|-------------------------------|-----------------------------|---------------|---------------|---------------|---------|-----------------|---|
| 13 | ③ 地域資源のブランド化プロジェクト | 木質バイオマス燃料(薪)の生産量 | 2019年 0 t | 2021年 10 t | 2022年 29 t | 47 t | 2023年 150 t | 31% |
| 14 | ④ 次代の育成・女性活躍・高齢者活躍の場づくりプロジェクト | 女性による創業・起業件数 | 2019年 0 件/年 | 2021年 1 件/年 | 2022年 4 件/年 | 0 件/年 | 2022年 1 件/年 | 0% |
| 15 | ④ 次代の育成・女性活躍・高齢者活躍の場づくりプロジェクト | 合計特殊出生率 | 2019年 1.65 | 2021年 1.06 | 2022年 データなし | データなし | 2024年 1.32 | 2022年度分は2024年度(11月～12月予定)、2023年度分は2025年度(11月～12月予定) |
| 16 | ④ 次代の育成・女性活躍・高齢者活躍の場づくりプロジェクト | 保育所・学童保育の待機児童数 | 2019年 0 人 | 2021年 0 人 | 2022年 0 人 | 0 人 | 2024年 0 人 | 100% |
| 17 | ④ 次代の育成・女性活躍・高齢者活躍の場づくりプロジェクト | 健康づくり事業へ参加者数(年間:延数) | 2019年 649 人 | 2021年 1,079 人 | 2022年 1,115 人 | 1,395 人 | 2024年 1,500 人 | 88% |
| 18 | ④ 次代の育成・女性活躍・高齢者活躍の場づくりプロジェクト | 介護予防事業へ参加者数(年間:延数) | 2019年 5,663 人 | 2021年 2,357 人 | 2022年 2,979 人 | 2,955 人 | 2024年 7,200 人 | -176% |
| 19 | ④ 次代の育成・女性活躍・高齢者活躍の場づくりプロジェクト | 地域での助け合い・支え合いの体制組織数(設置自治会数) | 2019年 20 か所 | 2021年 20 か所 | 2022年 20 か所 | 20 か所 | 全地域を網羅 2023年 | 0% |
| 20 | ④ 次代の育成・女性活躍・高齢者活躍の場づくりプロジェクト | 民生委員児童委員の配置 | 2019年 34 名 | 2021年 36 名 | 2022年 36 名 | 35 名 | 2023年 37 名 | 33% |
| 21 | ④ 次代の育成・女性活躍・高齢者活躍の場づくりプロジェクト | 認知症カフェの維持 | 2019年 1 か所 | 2021年 1 か所 | 2022年 1 か所 | 1 か所 | 2022年 1 か所 | 100% |

(2) 自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等

「松田町SDGs推進プラットフォーム(パートナー制度)」について、令和4年7月に制度を開始し、web上に構築したプラットフォームにおいて個々がSDGs宣言を行っていただける仕組みや活動内容を掲載する仕組みを構築し、令和4年12月にはプラットフォーム上におけるマッチング機能を実装した。本制度により、町内でSDGsの目標達成や地域課題の解決に向けて活動している個人・法人・団体等の活動を見える化することで、町とパートナー、パートナー同士のマッチングの機会を創出している。また、町とパートナーとのマッチングのみではなく、パートナー同士もマッチングすることが可能となり、これまで別に活動していた方がともに活動ができる環境を整えた。そのことにより、持続的・自律的にそれぞれの団体・個人がこれまで行ってきた取組みが推進され、自律的好循環の形成を図っていく。

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2021年～2023年

(3) 「自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

・「No.1 地域座談会や出前講座等への参加者数」については、新型コロナウイルス感染症の拡大以降、町政懇話会（町内2会場）・地域座談会（希望された2自治会のみ）による形式に開催方法を変更したことから、当初値の参加者とは乖離がある状況にある。その代わりに、アンケート調査等を定期的に行うことにより、町政への町民意見の反映を企図した。地域座談会については、近年、参加者が減少していることから、若い世代の参加者を増加させるためにテーマの見直しや周知方法などを検討する必要がある。また、出前講座等の参加者を増やすためにも、より魅力的な講座の内容について検討を進めていく。

・「No.2 自治会への加入率」については、町の人口が減っている中、高齢になり役員ができないといった理由などにより退会する方がいることに加え、転入者が自治会になかなか加入しないことが課題となっている。本年度から取り組みを開始した自治会加入申込書の配付については、少ないながらも一定の効果があるため、引き続き取り組みを進めていく。

・「No.3 防災訓練への参加者数」については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止していたが、2023年度に再開した。久しぶりの開催となったことから、参加者は従前よりも下がっている。防災講演会の開催や、町広報誌を用いた防災意識向上に向けた記事を掲載していく。

・「No.4 地域での助け合い・支え合いの体制組織数（設置自治会数）」については、新型コロナウイルス感染症の拡大以降20自治会が運営できたが、令和5年度は参加者の減少から1自治会減となった。今後も継続して全地域において地域の茶の間・居場所づくりを提供できるよう広報等で周知していく。

・「No.6 新松田駅における定期外乗車人員数（年間）」、「No.7 松田駅における定期外乗車人員数（年間）」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による外出控え等の影響により、数値を大きく落としていたが、感染拡大前の8割程度まで回復した。今後、新松田駅周辺整備事業の進捗を着実に進めることにより、神奈川県西地域の北の玄関口として相応しい拠点となるよう、賑わいや活力を向上させることで、鉄道利用者の増加を図っていく。

・「No.8 新松田駅南口駅前広場等整備事業の進捗率」については、駅北口側の整備を先行して進めるため、進捗率の向上がされなかった。

・「No.11 観光客数」については、新型コロナウイルス感染症の影響により各種イベントが中止となっていたが、徐々にコロナ前と同等のイベントが再開されていたことから、徐々に回復傾向にある。今後は、広域的な連携による観光振興を進め、入込客を増加を目指していく。また、自然豊かな寄地区のハイキングやドッグラン、農泊や農業体験会を通じた寄地区と松田山南斜面の魅力を活かし、環境誘客を進めていく。

・「No.13 木質バイオマス燃料（薪）の生産量」については、供給先の運用のノウハウの不足により性能を活かしきれていないことや、新型コロナウイルス感染症の影響により、供給先である町健康福祉センター温浴施設の稼働時間が短縮されたことなどの要因となり、目標値に達していない。今後、他の施設等においても木質バイオマスボイラー等の設置を推進していく。

・「No.14 女性による創業・起業件数」については、機運醸成に至らず、年度目標に達しなかった。今後は、町有施設内のワーキングスペースを中心に、異業種交流会等を開催することで、女性による創業意識の向上を図っていく。

・「No.18 介護予防事業へ参加者数（年間：延数）」については、新型コロナウイルス感染症の影響により参加者数が減少した傾向が継続している。参加者数を増やす取組として、広報に福祉課イベントカレンダーを掲載して各事業の周知を行った。今後は、住民主体の一般介護予防事業の立ち上げ支援や運営サポートを行う等、住民と一体となって事業を展開していくことで、町の介護予防事業以外の手法も活用して介護予防活動に取り組んでいく。

・「No.19 地域での助け合い・支え合いの体制組織数（設置自治会数）」については、新型コロナウイルス感染症の拡大以降20自治会が運営できたが、令和5年度は参加者の減少から1自治会減となった。今後も継続して全地域において地域の茶の間・居場所づくりを提供できるよう広報等で周知していく。

・「No.20 民生委員児童委員の配置」については、地域への理解を深めてもらうため活動内容を記載したパンフレットの配布及び周知、自治会長連絡協議会との意見交換会を実施することにより、配置数を増やしていく。

(4) 有識者からの取組に対する評価

・DXについて幅広いKPIを設定している。取組進捗指標と達成目標指標について相互の関係性を明らかにして、計画の更新を検討いただきたい。まちづくり系の指標について進捗が限定的であることの説明が必要。

・コロナ禍の影響も見られるため、取組状況やその成果にはばらつきがあるものの、引き続き着実に進めていただきたい。

神奈川県松田町 第1期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

(1) 2030年のあるべき姿の実現に向けた取組の達成状況

| No | 指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号 | 当初値 | 2023年 | 2030年(目標値) | 達成度 (%) | 第2期計画(または独自計画)の KPIへの反映状況 |
|----|--|----------------|----------------|-----------------|------------|--|
| 1 | 地域座談会や出前講座等への参加者数 【17.17】 | 2019年 232 人 | 2023年 67 人 | 2022年 400 人 | -98% | 当初値を設定した時点から開催方法が変わったことから、第2期計画ではKPIを見直し、取り組んでいく |
| 2 | 松田ブランド認定品の売上額 【8.3、8.9】 | 2019年 7,604 千円 | 2023年 6,272 千円 | 2024年 15,000 千円 | -18% | 目標に達していないことから、第2期計画ではKPIを据え置き、引き続きPRに努め、達成を目指していく |
| 3 | 町内における累計起業件数 【8.3、8.9】 | 2019年 1 件 | 2023年 6 件 | 2024年 5 件 | 125% | 順調に推移し、目標を達成したことから、第2期計画では目標値を6件に設定 |
| 4 | 木質バイオマス燃料(薪)の生産量 【9.4】 | 2019年 0.0 t | 2023年 47 t | 2023年 150 t | 31% | 施設の稼働状況が当初想定から変更となり目標に達していないので、第2期計画ではKPIを据え置きとした |
| 5 | 地域座談会や出前講座等への参加者数 【17.17】 | 2019年 232 人 | 2023年 67 人 | 2022年 400 人 | -98% | 当初値を設定した時点から開催方法が変わったことから、第2期計画ではKPIを見直し、取り組んでいく |
| 6 | 再生可能エネルギー出前講座参加者数 【4.7、13.3、15.2、15.4、7.17】 | 2019年 0 人 | 2023年 71 人 | 2023年 90 人 | 79% | 目標に達していないことから、第2期計画ではKPIを据え置き、引き続きPRに努め、達成を目指していく |
| 7 | I C T環境を活用した授業の割合(年間) 【4.7、13.3、15.2、15.4、7.17】 | 2019年 49.0 % | 2023年 83.8 % | 2024年 80 % | 112% | 第1期計画期間中に目標を達成したことから、指標を変更した。 |
| 8 | 花の植栽活動実施箇所数 【4.7、13.3、15.2、15.4、7.17】 | 2019年 60.0 箇所 | 2023年 60 箇所 | 2023年 100 箇所 | 0% | 目標値が実情に合っていないことから、第2期計画ではKPIを見直し、取り組んでいく |
| 9 | 地域での助け合い・支え合いの体制組織数(設置自治会数) 【4.7、13.3、15.2、15.4、7.17】 | 2019年 20.0 箇所 | 2023年 20 箇所 | 2023年 全地域を網羅 | 0% | 第1期計画期間における実績を踏まえ、第2期計画では現状維持を目標とする。 |
| 10 | 自治会への加入率 【4.7、13.3、15.2、15.4、7.17】 | 2019年 91.2 % | 2023年 85.5 % | 2023年 94 % | -208% | 第1期計画期間における実績を踏まえ、第2期計画では現状維持を目標とする。 |
| 11 | 地域座談会や出前講座等への参加者数 【17.17】 | 2019年 232 人 | 2023年 67 人 | 2022年 400 人 | 17% | 当初値を設定した時点から開催方法が変わったことから、第2期計画ではKPIを見直し、取り組んでいく |
| 12 | 施業森林面積 【6.6、15.2、15.4】 | 2019年 16 ha | 2023年 16 ha | 2022年 20 ha | 80% | 施業森林面積は増えていく予定がないことから、第2期計画では現状維持を目標とし適切に森林維持に努めていく。 |
| 13 | 一人一日あたりのごみ排出量 【12.5】 | 2019年 891 g | 2023年 810 g | 2022年 820 g | 99% | 目標を上回る削減を行うことができたことから、第2期計画ではKPIを720gに設定した。 |
| 14 | 木質バイオマス利用設備の導入によるCO2排出削減量 【7.2、13.3】 | 2019年 0 t-CO2 | 2023年 52 t-CO2 | 2022年 145 t-CO2 | 36% | 目標に達していないことから、第2期計画ではKPIを据え置き、薪の供給先を増やすことにより達成を目指していく。 |
| 15 | COOL CHOICE事業賛同者数 【7.2、13.3】 | 2019年 778.0 人 | 2023年 1,600 人 | 2023年 1,600.0 人 | 100% | 事業の方向性が当初値の設定時と変更となっていることから、第2期計画では指標を変更した。 |

(2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

| No | 取組名 | 指標名 | 当初値 | 2023年 実績 | 2023年 目標値 | 達成度 (%) | 第2期計画(または独自計画)の KPIへの反映状況 |
|----|-------------------------------|-----------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|------------|--|
| 1 | ① コミュニティをさらに活性化する仕組みづくりプロジェクト | 地域座談会や出前講座等への参加者数 | 2019年 232 人 | 2023年 67 人 | 2022年 400 人 | -98% | 当初値を設定した時点から開催方法が変わったことから、第2期計画ではKPIを見直し、取り組んでいく |
| 2 | ① コミュニティをさらに活性化する仕組みづくりプロジェクト | 自治会加入率 | 2019年 91 % | 2023年 86 % | 2022年 94 % | -208% | 第1期計画期間における実績を踏まえ、第2期計画では現状維持を目標とする。 |
| 3 | ① コミュニティをさらに活性化する仕組みづくりプロジェクト | 防災訓練への参加者数 | 2019年 2,539 人 | 2023年 1,700 人 | 2022年 3,300 人 | -110% | 目標に達していないことから、第2期計画ではKPIを見直し、実情に合わせた目標値とし達成を目指していく。 |
| 4 | ① コミュニティをさらに活性化する仕組みづくりプロジェクト | 地域での助け合い・支え合いの体制組織数(設置自治会数) | 2019年 20 か所 | 2023年 20 か所 | 2024年 全地域を網羅 | 0% | 第1期計画期間における実績を踏まえ、第2期計画では現状維持を目標とする。 |
| 5 | ② 新松田駅・松田駅周辺のまちづくりプロジェクト | 商工業販売・出荷額 | 2019年 120 億円 | 2023年 121 億円 | 2024年 135 億円 | 3% | 目標に達していないものの、今後の駅周辺事業の推進による商工業の発展による増加を見込み、KPIを160.0億円に設定した。 |
| 6 | ② 新松田駅・松田駅周辺のまちづくりプロジェクト | 新松田駅における定期外乗車人員数(年間) | 2019年 1,713,288 人 | 2023年 1,317,615 人 | 2024年 1,742,385 人 | -1360% | 目標に達していないものの、今後の駅周辺事業の推進による商工業の発展による増加を見込み、KPIを据え置きとした。 |
| 7 | ② 新松田駅・松田駅周辺のまちづくりプロジェクト | 松田駅における定期外乗車人員数(年間) | 2019年 511,368 人 | 2023年 405,311 人 | 2024年 516,845 人 | -1936% | 目標に達していないものの、今後の駅周辺事業の推進による商工業の発展による増加を見込み、KPIを据え置きとした。 |
| 8 | ② 新松田駅・松田駅周辺のまちづくりプロジェクト | 新松田駅南口駅前広場等整備事業の進捗率 | 2019年 50 % | 2023年 55 % | 2022年 100 % | 10% | まずは北口側の整備を優先して取り組むことから、第2期計画ではKPIを86%に見直した。 |
| 9 | ② 新松田駅・松田駅周辺のまちづくりプロジェクト | 2020～2024年の5年間における社会移動数 | 2019年 -223 人 | 2023年 -108 人 | 2024年 -137 人 | 134% | 第2期計画でもKPIを据え置き、持続可能なまちづくりの推進のため、社会減の数を減らしていく。 |

神奈川県松田町 第1期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

| No | 取組名 | 指標名 | 当初値 | 2023年実績 | 2023年目標値 | 達成度(%) | 第2期計画（または独自計画）のKPIへの反映状況 |
|----|-------------------------------|-----------------------------|----------------|----------------|-----------------|--------|--|
| 10 | ③ 地域資源のブランド化プロジェクト | 生涯学習事業への参加 | 2019年 30 % | 2023年 60 % | 2022年 70 % | 75% | 第1期計画期間中に順調に増加したことから、第2期計画ではKPIを70%に増やした。 |
| 11 | ③ 地域資源のブランド化プロジェクト | 観光客数 | 2019年 665 千人 | 2023年 577 千人 | 2022年 788 千人 | -72% | 新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んでいたものの、上昇傾向にあることから、第2期計画ではKPIを800千人に増やした。 |
| 12 | ③ 地域資源のブランド化プロジェクト | 松田ブランド認定品の売上額 | 2019年 7,604 千円 | 2023年 6,272 千円 | 2022年 15,000 千円 | - | 目標に達しない見込みであることから、第2期計画ではKPIを据え置き、ブランド認定品の販路の拡大に取り組むことで目標達成を目指していく。 |
| 13 | ③ 地域資源のブランド化プロジェクト | 木質バイオマス燃料（薪）の生産量 | 2019年 0 t | 2023年 47 t | 2023年 150 t | 31% | 施設稼働後の状況を踏まえて、第2期計画ではKPIを達成する目標時期を見直した。 |
| 14 | ④ 次代の育成・女性活躍・高齢者活躍の場づくりプロジェクト | 女性による創業・起業件数 | 2019年 0 件/年 | 2023年 0 件/年 | 2022年 1 件/年 | 0% | 第1期計画期間中に目標を達成した年度もあったものの、継続的な達成ができていないので、第2期計画ではKPIを据え置き、女性向けの起業セミナー等を開催していく。 |
| 15 | ④ 次代の育成・女性活躍・高齢者活躍の場づくりプロジェクト | 合計特殊出生率 | 2019年 1.65 | 2023年 データなし | 2024年 1.32 | - | 新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込みが大きく、第2期計画ではKPIを据え置きとし、子育て支援環境の充実により目標達成を目指していく。 |
| 16 | ④ 次代の育成・女性活躍・高齢者活躍の場づくりプロジェクト | 保育所・学童保育の待機児童数 | 2019年 0 人 | 2023年 0 人 | 2024年 0 人 | 100% | 第1期計画期間中は目標を常に達成することができたので、第2期計画でもKPIを据え置きとした。 |
| 17 | ④ 次代の育成・女性活躍・高齢者活躍の場づくりプロジェクト | 健康づくり事業へ参加者数（年間：延数） | 2019年 649 人 | 2023年 1,395 人 | 2024年 1,500 人 | 88% | 第2期計画ではKPIを据え置きとした。目標には達していないものの、徐々に増加傾向にあることから、取り組みを継続し目標達成を目指していく。 |
| 18 | ④ 次代の育成・女性活躍・高齢者活躍の場づくりプロジェクト | 介護予防事業へ参加者数（年間：延数） | 2019年 5,663 人 | 2023年 2,955 人 | 2024年 7,200 人 | -176% | 新型コロナウイルス感染症の影響による落ち込みが大きく、第2期計画ではKPIを据え置きとし、地域共生社会の実現を目指していく。 |
| 19 | ④ 次代の育成・女性活躍・高齢者活躍の場づくりプロジェクト | 地域での助け合い・支え合いの体制組織数（設置自治会数） | 2019年 20 か所 | 2023年 20 か所 | 2023年 全地域を網羅 | 0% | 目標を達成することができなかったことから、第2期計画ではKPIを据え置きとした。継続して事業に取組み支え合いの輪を広げていく。 |
| 20 | ④ 次代の育成・女性活躍・高齢者活躍の場づくりプロジェクト | 民生委員児童委員の配置 | 2019年 34 名 | 2023年 35 名 | 2023年 37 名 | 33% | 民生委員児童委員が配置されていない自治会がある実情を踏まえて、第2期計画では、まずは全26自治会への配置を目指すようにKPIを変更した。 |
| 21 | ④ 次代の育成・女性活躍・高齢者活躍の場づくりプロジェクト | 認知症カフェの維持 | 2019年 1 か所 | 2023年 1 か所 | 2022年 1 か所 | 100% | 第1期計画期間中は目標を常に達成することができ、継続のめども立っているため、指標を変更した。 |

(3) 第1期SDGs未来都市計画の進捗評価結果を踏まえた総括

| |
|--|
| <p>【全体総括】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、達成率が低いもの又はマイナスとなってしまった項目が散見される。コロナ禍前後で変わった社会情勢や環境を踏まえ、目標指標の見直しとKPIの見直しを行い、引き続き、SDGsパートナーシップ制度を軸としてSDGsの普及啓発を推進し、「誰一人取り残さない！笑顔あふれる幸せのまち 松田」の実現を目指していく。</p> <p>本町の重点的取り組みとなる木質バイオマス事業において、令和3年8月に新製造団体を選定し、本格的に動き始めた。木質バイオマス事業における雇用の創出や、森林の整備において目標値の達成に向け大きく近づいており、木質バイオマスボイラーの本格稼働によりCO2排出量を削減が図られた。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、薪の供給量が当初の想定より減少したものの、安定的な量の供給を継続して行うことができ、今後、他の施設等においても木質バイオマスボイラー等の設置を推進していく。引き続き、木質バイオマス事業について、脱炭素（カーボンニュートラル）の実現に向けた町のリーディングプロジェクトとしてビジョンに位置付け、間伐材などの調達（川上）からエネルギーとしての利用（川下）までを町内で完結する仕組みを確立し、そのサイクルを町内で回すことで、経済・社会・環境の三側面の地域内好循環を創出する。</p> <p>【2030年のあるべき姿の実現に向けた取組の達成状況】</p> <p>・「No.1 地域座談会や出前講座等への参加者数」については、新型コロナウイルス感染症の拡大以降、町政懇話会（町内2会場）・地域座談会（希望された2自治会のみ）による形式に開催方法を変更したことから、当初値の参加者とは乖離がある状況にある。その代わりに、アンケート調査等を定期的に行うことによって、町政への町民意見の反映を企図した。地域座談会については、近年、参加者が減少していることから、若い世代の参加者を増加させるためにテーマの見直しや周知方法などを検討する必要がある。また、出前講座等の参加者を増やすためにも、より魅力的な講座の内容について検討を進めていく。</p> <p>・「No.10 自治会への加入率」については、町の人口が減っている中、高齢になり役員ができないといった理由などにより退会する方がいることに加え、転入者が自治会になかなか加入しないことが課題となっている。デジタル技術を活用し、新たに自治会専用SNS「いちのいち」を通じてスマホで自治会情報を受け取れる環境を構築し、自治会加入によるメリットを引き出すことで、加入率の向上を推進していく。</p> <p>【自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況】</p> <p>・「No.3 防災訓練への参加者数」については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止していたが、2023年度に再開した。久しぶりの開催となったことから、参加者は従前よりも下がっている。防災講演会の開催や、町広報誌を用いた防災意識向上に向けた記事を掲載していく。</p> <p>・「No.6 新松田駅における定期外乗車人員数（年間）」、「No.7 松田駅における定期外乗車人員数（年間）」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による外出控え等の影響により、数値を大きく落としていたが、感染拡大前の8割程度まで回復した。今後、新松田駅周辺整備事業の進捗を着実に進めることにより、神奈川県西地域の北の玄関口として相応しい拠点となるよう、賑わいや活力を向上させることで、鉄道利用者の増加を図っていく。</p> <p>・「No.11 観光客数」については、新型コロナウイルス感染症の影響により各種イベントが中止となっていたが、徐々にコロナ前と同等のイベントが再開されていったことから、徐々に回復傾向にある。今後は、広域的な連携による観光振興を進め、入込客を増加を目指していく。また、自然豊かな寄地区のハイキングやドッグラン、農泊や農業体験会を通じた寄地区と松田山南斜面の魅力を活かし、環境誘客を進めていく。</p> <p>・「No.18 介護予防事業へ参加者数（年間：延数）」については、新型コロナウイルス感染症の影響により参加者数が減少した傾向が継続している。参加者数を増やす取組として、広報に福祉課イベントカレンダーを掲載して各事業の周知を行った。今後は、住民主体の一般介護予防事業の立ち上げ支援や運営サポートを行う等、住民と一体となって事業を展開していくことで、町の介護予防事業以外の手法も活用して介護予防活動に取り組んでいく。</p> |
|--|

(4) 有識者からの取組に対する評価

| |
|---|
| <p>・木質バイオマスの中核とするのであれば、その事業の中核としてそのほかの取組を連携させるなど、幅広い相乗効果が期待されるような取組についても検討いただきたい。</p> |
|---|